



長引くコロナ禍の影響について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



今後も高齢者の心身機能の維持向上に向けた事業を実施



問 高齢者の体力低下について。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、特に高齢者の心身機能の低下が懸念されている。令和3年度に高齢者実態把握調査を実施し、分析した結果、運動機能への影響は少なかったが、人との交流や外出する機会の減少がうつ傾向につながっている可能性があることが分かった。4年度からは、生きがいづくりや仲間づくりを促進するため、シルバーエスポーツの普及とスマートフォン利用支援を開始した。また、ラジオ体操やウォーキングに関わる事業も、大幅に拡充した。

答 今後も高齢者の状況を把握し、心身機能の維持向上に向けた事業を実施していきたい。

問 発熱時の対応について。

答 市民から、新型コロナウイルス感染症などによる発熱などの相談があった場合は、薬局やインターネットなどで検査キットを入手し自宅で検査する方法と、対面による医師の診察や検査、薬の処方を受ける方法の2通りの診療検査体制を、相談内容に応じて説明している。そのほか、埼玉県が設置している受診・相談センターや県民サポートセンターについても紹介している。



災害時の避難所等の運営について

ふじわら
藤原 建志 議員



避難所開設の考え方などをハザードマップに記載し、全戸配布

問 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所等の運営について。

答 「3密」を避けることが重要と考え、自宅に留まる在宅避難や親族、友人宅への避難を推奨している。また、避難所では、換気、間仕切りの設置、消毒の徹底などの感染症対策を行うほか、必要に応じて小・中学校の教室などに避難者を分散する。

問 女性の視点を生かした避難所等の運営について。

答 女性中心の避難所運営では、女性のニーズを把握しづらいため、女性の主体的な参画について啓発を行い、平時から男性の理解を得るなど、避難所運営に

問 わかりやすい防災情報の発信について。

答 防災行政無線、緊急速報メール、ホームページなどの方法で防災情報を発信している。

問 一般の避難所で生活が困難な要配慮者のために設置する福祉避難所は、公共施設として9施設ある。また、民間6施設と協定を締結している。

答 一般の避難所で生活が困難な要配慮者のために設置する福祉避難所は、公共施設として9施設ある。また、民間6施設と協定を締結している。



鶴ヶ島第二小学校における避難所開設・運営訓練